

令和6年度 学校評価(教職員によるアンケート結果)

(よくあてはまる:4, あてはまる:3, あまりあてはまらない:2, あてはまらない:1)

	質問項目	4	3	2	1
学校学級運営	日々の教育実践は計画的に行い、課題は誠実・迅速・柔軟に対応できた。	35.7%	57.1%	7.1%	
	自分の分掌業務において、各自の経験や専門性を生かし、改善意識をもって、工夫して提案・実践できた。	26.7%	62.2%	11.1%	
	いじめ・不登校初期対応基本方針をもとに、組織的に不登校問題や生活課題について取り組んだ。	53.8%	46.1%		
	配慮すべき児童については個別指導などの適切な指導がなされ、温かくきめ細やかな児童指導を進めた。	48.8%	46.3%	4.8%	
	みぶっ子いじめゼロ作戦にもとづき、いじめの防止に努め、毅然とした指導を行った。	65.0%	35.0%		
	豊かな表情で児童に接し、心の通い合いのある学級づくりを行い、児童一人一人の能力や個性を大切にするような運営ができた。	48.6%	51.4%		
	報告・連絡・相談・記録を確実に実行できた。	46.7%	46.6%	6.6%	
	専科教員や支援員、ALT、その他、同僚との連携や協力・協働に努めることができた。	53.3%	44.4%	2.2%	
学習指導	授業では、何をできるようにしたいのか、ねらいを明確化することができた。	38.2%	55.8%	5.9%	
	授業では、主体的に解決する問題解決的な学習を多く取り入れられた。	28.1%	62.5%	9.4%	
	児童の習熟度を把握し、指導と評価を一体化させた学習指導を行えた。	11.1%	75.0%	13.9%	
	児童の実態や学力差に応じて、発展的な課題等を準備し、授業に臨むことができた。	20.0%	62.8%	25.0%	
	特別支援教育の理解に努め、安心感と分かりやすさの授業を心掛けた。	42.1%	57.9%		
	校内・校外の研修に参加し、指導技術の向上を図ることができた。	27.8%	61.1%	8.3%	
	学校課題研究やふらっとOJLの推進により、授業力向上につながっている。	31.2%	56.2%	12.5%	
	内容や量を工夫し、家庭学習の推進を図ることができた。	27.6%	65.5%	6.9%	
	授業等において、ICTを積極的に取り入れ、活用することができた。	38.2%	32.3%	29.4%	
	読書指導の充実を図り、感想文を書く習慣が身につくよう取り組んだ。	6.9%	55.1%	37.9%	
生活・保健・安全指導・その他	よりよい衛生習慣の徹底を図ることができた。	42.5%	47.5%	10.0%	
	「挨拶・返事・くつそろえ」等、「壬生小よい子の一日」の指導の徹底を図り、基本的な生活習慣を身につけさせることができた。	29.7%	56.7%	13.5%	
	食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるよう食育の充実を図ることができた。	39.5%	47.3%	13.1%	
	児童の生命、安全、健康を第一に考え、安全指導を組織的にを行い、問題には迅速に対応できた。	61.9%	38.0%		
	備品や消耗品の適切な使用、保管・修理・補充、また校庭、校舎、倉庫など施設の整備に努めることができた。	47.5%	52.5%		
	日々の生活の中で、「認めて褒めて励まして信じて待つて見届ける」を基本姿勢とし、子供の子どもの活躍を称賛して、意欲の向上に努めた。	54.5%	45.5%		
	学年だよりや学級通信の発行等により、学級の様子を知らせ、家庭との連携を強めた。	41.9%	51.6%	6.5%	
	地域の教材化、地域人材との協働化が推進された。	24.7%	57.6%	18.1%	
	チーム壬生小を推進し、職員同士のコミュニケーションの充実により、働きやすい職場環境づくりにつながっている。〈全体〉	57.7%	42.2%		
時間管理の意識をもち、自己の心身の健康保持に努めている。	37.8%	55.5%	6.6%		